

ソニー株式会社

Media Edge Processor

NXL-ME80

V1.30 Release Note

20/Feb/2026

【概要】

本書は、対象機の機能追加と不具合修正を目的とした、アップデート版ソフトウェア V1.30のリリースノートです。

【変更点】

<新機能>

1. Ultra Low Latency モードの HD マルチの伝送帯域の最適化
Ultra Low Latency モードの HD マルチの x2/x3/x4 において、従来は x2/x3 を選択した場合も x4 と同じ伝送帯域が必要でしたが、x2/x3 の伝送帯域で伝送できるよう最適化しました。
2. Ultra Low Latency モードの HFR (High Frame Rate) の伝送帯域の最適化
Ultra Low Latency モードの HFR の 2x/3x/4x において、従来は 3x を選択した場合も 4x と同じ伝送帯域が必要でしたが、3x の伝送帯域で伝送できるよう最適化しました。
※2x については以前のバージョンで最適化済みです。
3. Resume Streaming 機能
WAN のストリーミング中に本機の電源をオフ/オンまたは再起動した場合、起動後に WAN のストリーミングを自動的に再開する機能を追加しました。
4. HFR (High Frame Rate) 信号の1本のSDIケーブルでの伝送機能
 - ・ HFR 信号1920x1080p 4x の場合：
従来の 3G Single Link Level A x4 に加えて、新たに 12G Single Link に対応しました。
 - ・ HFR 信号1920x1080i 2x の場合：
従来の 1.5G x2 に加えて、新たに 3G Single Link Level B に対応しました。
5. SDI 出力信号の位相調整機能
SDI 端子に出力されるビデオ信号のシンク位相を調整する機能を追加しました。
6. 統計情報のグラフ表示機能の強化
 - ・ グラフにカーソルを合わせたときに日付と数値を表示
 - ・ グラフ表示範囲の高さの自動調整機能
 - ・ グラフ表示更新の一時停止機能
 - ・ 統計データのダウンロード機能
7. WAN 端子のネットワークテスト機能の追加
従来の Ping 機能に加えて、新たに Throughput 機能、Diagnostic 機能に対応しました。
 - ・ Throughput 機能：
WANの伝送品質の測定機能
 - ・ Diagnostic 機能：
Unexpected Rx Bitrate としてカウントされたパケットの送信元を特定するためのデータのダウンロード機能
8. IPv6 対応
CONTROL 端子と WAN 端子が新たに IPv6 に対応しました。
※ 5G Rx モードを除く。
9. CCM 接続時の Settings タブの表示改善
Operation Mode が CCM のときにも、Settings タブで設定を表示できるようになりました。

10. クライアントの有効期限の設定機能

Maintenance ページの Clients で、新たに Grant Type が Authorization Code のクライアントの有効期限を設定できるようになりました。これにより WebUI のセッションが切れるまでの時間を変更できます。

11. Alarm タブの追加

Maintenance ページに新たに Alarm タブを追加し、アラーム発報に関する設定ができるようになりました。

12. マルチリンク SDI 入力の端子間位相ずれのアラーム機能

3840x2160 の 3G Quad Link または HFR で、SDI 入力の端子間の位相ずれ量が大きいために、“[SDI In] Input video signals are out of phase (SDI *)” のアラームを表示する機能を追加しました。

<UIの変更>

上記の機能追加の対応なども含めて以下の変更をしました。

1. Statistics ページ

- ・ Graph タブ
 - ・ グラフにカーソルを合わせたときに日付と数値を表示するようになりました。
 - ・ auto scaling を追加しました。(グラフ表示範囲の高さの自動調整機能)
 - ・ Pause を追加しました。(グラフ表示更新の一時停止機能)

2. Streaming ページ

- ・ Configuration タブ
 - ・ 設定に IP Version(CONTROL) と IP Version(WAN) を追加し、IPv4 と IPv6 を選択できるようになりました。
- ・ WAN List タブ
 - ・ Source の LAN List で、現在の Configuration に対応していない Source Unit Type の Tx ID を設定した場合に、Unavailable with the current “Configuration” のメッセージを表示するようになりました。

3. Settings タブ

- ・ ストリーム番号の下に伝送状態を示すステータスバーを追加しました。

4. Process タブ

- ・ System タブを追加しました。
 - ・ SDI Output Phase を追加しました。(SDI 出力信号の位相調整機能)

5. Maintenance ページ

- ・ Network タブ
 - ・ CONTROL タブ
 - ・ IPv6 の設定項目を追加しました。
 - ・ WAN タブ
 - ・ IPv6 の設定項目を追加しました。

- ・ Network Test を追加しました。(ネットワークテスト機能)
 - ※ Ping を Network Test 内の一つの機能としました。
 - ※ Network Debugging Mode が ON のとき、Throughput 機能と Diagnostic 機能が有効です。
- 6. Certificates タブ
 - ・ Clients タブ
 - ・ Grant Type が Authorization Code のクライアントの Expiration Period を追加しました。
- 7. Service タブ
 - ・ Download Statistical Data を追加しました。(統計データのダウンロード機能)
 - ・ Network Debugging Mode を追加しました。
 - ・ Resume Streaming を追加しました。(Resume Streaming 機能)
- 8. Alarm タブ
 - ・ Alarm タブを追加しました。(アラーム発報に関する設定)

<不具合修正>

1. DHCP サーバーの lease time が極端に短いときの不具合修正
 DHCP サーバーの lease time が極端に短いとき(約5分以下)に、ステータスインジケータが数分間に1回オレンジ色に点灯する不具合を修正しました。
2. サービスログの不具合修正
 サービスログのデータの一部がまれに破損する不具合を修正しました。
3. 映像が乱れる不具合の修正
 伝送中に、WAN端子側に接続されたネットワークスイッチの電源を OFF/ON すると、まれに映像が乱れたままになる不具合を修正しました。
4. 伝送ビットレートの表示の不具合修正
 入力 SDI 信号に Audio Packet がない場合に、Statistics ページの伝送ビットレートが低く表示される不具合を修正しました。
5. 暗号化が有効のときに不適切なアラームが表示される不具合修正
 暗号化が有効のときに、設定が一致しないストリームが検出されると、Passphrase が正しいにもかかわらず、“[Stream] Key exchange for encryption timed out (WAN stream *)” のアラームが表示される不具合を修正しました。
6. ST 2110 出力の映像が乱れる不具合修正
 V1.2x で同時に 60p と 30p の信号を伝送したときに、ST 2110 出力の映像が乱れる不具合を修正しました。

以上。